

# 令和4年度 日吉津村施政方針

令和4年第1回村議会定例会(3月議会)で村長が表明した、新年度のむらづくりの方向性や重要施策、予算などを示す「日吉津村施政方針」をご紹介します。

※施政方針の原文を、広報誌用に編集して掲載しています。

## 新型コロナ対応

新型コロナオミクロン株が全世界で猛威を振るい、近隣の地域でもクラスターが相次いで発生するなど、新たな局面を迎えています。

本村では、昨年4月以降、ヴィレステひえづでの集団接種と村内医療機関での個別接種で新型コロナワクチン接種を進め、本年1月からは3回目の接種がスタートしています。接種を希望される村民の皆様にごできるだけ早いタイミングで接種できるように順次ご案内しています。また、5歳～11歳までの小児接種については、米子市と西部町村による西部圏域での広域接種に向け、国の示すスケジュールに合わせて、3月下旬には接種開始できるよう調整を行っています。

## 総務課

いつ起こるかわからない災害や消防活動に対して日頃から備蓄品の整備等を行っています。令和4年度も新型コロナ感染症対策や防災訓練の実施を予定しています。また、**海浜エリアの活性化**を目指して、海浜運動公園管理棟の修繕工事を行います。あわせて、職員人材育成や村の状況に応じた財政運営・財政改革を継続して行います。

## 第7次日吉津村総合計画

新型コロナ感染症の拡大、デジタル社会の到来など、社会が大きく変わりつつあります。

そうした状況にも柔軟に対応しながら、昨年度に策定した「第7次日吉津村総合計画」を大きな指針とし、基本構想、基本計画の実現・実施に向け、年毎の主要な事業等を定める「実施計画」を作成し、計画に沿った事業実施を進めます。

## 政策1

### 豊かな心をはぐくむ むらづくり

自治基本条例の基本原則でもあります人権尊重社会を実現するとともに、村民や子供たちの学びや子育て支援の充実に取り組みます。

## 子育て支援

現在建設中の複合型子育て拠点施設については、昨年7月から児童館・子育て支援センターの解体を行いました。その後に新施設の建設に入り、本年7月末には完成、現保育所の解体後に駐車場等の整備を行い、最終的には令和4年度末に完成する見込みです。新しい建物については、9月のオープンを予定しています。また令和5年度からは、日吉津保育所を保育所型の認定こども園として開設できるよう、4月から

## 住民課

住民基本台帳・戸籍などの管理や国民年金の手続きなどの窓口業務を実施しています。また、住民税や固定資産税、国民健康保険税など各種村税の課税・徴収などの事務、ごみの分別・回収など住民生活に関わる業務を行っています。

令和4年度は**マイナンバーカードの受付や交付の時間を拡大**し、さらなる取得促進に取り組みます。

は準備室を設置してオープンに向け準備を進めていきます。

日吉津のことを思う子どもたちを、みんなで育てる拠点施設にしていきたいと考えています。完成までの間、利用者、関係者の皆様にはご不便をおかけしますが、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 教育

本村は、これまで「子どもはみんなの宝物」と捉え「GUTS日吉津っ子」を村民みんなで育てることを目指してきました。

小学校においては、「教えて考えさせる授業」を実施してきました。その結果、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られ、継続して全国学力・学習状況調査において県及び全国の平均正答率を上回るなど、一定の成果があがっています。

また、「コミュニティ・スクール事業」では、様々な立場の方と、「子どもたちのために私たち大人にできること」について検討しています。引き続き、「地域と学校相互の連携による学校づくりと地域づくりとはどういうものか」村民の皆様と一緒に考えていきたいと考えています。

## 政策2

# 自然と調和する住みよいむらづくり

日吉津村の自然や農村環境、良好な景観などの豊かな環境をしっかりと守りながら、土地利用計画に基づいた整備・開発・保全、公園など憩いの場の活用、生活インフラなど生活環境の整備を図り、安心安全で持続可能な、皆様が暮らしやすい環境の整備を行います。

## 土地利用計画

現在、国道431号沿道の富吉地区について、開発事業者が地権者ととも市街化調整区域の地区計画による商業開発の検討を行っています。周辺の沿道環境、居住環境、営農環境との調和を図りながら、良好な市街地形成を図るために、関係各機関と協議しながら、土地利用計画の実現を目指します。

また、道路施設の維持については、橋梁の定期点検や村道2号線の海川排水路橋の補修を行うほか、村道日野川右岸堤線の舗装補修を行う予定としています。道路の新設改良については、村道役場線と2号線の交差点改良工事が令和4年度中に完了するとともに、村道宮川北線の歩道整備に着手する予定としています。



## 総合政策課

村の政策や地方創生などの村づくりを総合的に進め、村づくりのルールである自治基本条例や最上位の村づくり計画である総合計画、コミュニティ活動の推進、移住定住促進による人口の維持・増加、情報発信などに取り組んでいます。

令和4年度は**自治体DX**を推進し、住民票等のコンビニ交付などマイナンバーカードを利用した手続きに向けたシステム改修、情報セキュリティ対策の徹底などを行います。



▲マイナンバーカード交付手続の様子

## 公園等環境整備

本村は、市街地近郊に位置しながらも日野川や日本海などの豊かな自然に恵まれた環境にあります。

日野川土手、河川敷に整備している「桜堤」や「河川敷グラウンド」、「水辺の楽校」では、ウォーキングや交流など村民の憩いの場となっています。「桜堤」の桜の開花時期には、ベンチを増設し利便性の向上を図っているところです。

海浜エリアでは、うなばら荘が、令和4年3月末をもって閉館しました。

閉館後民間事業者に譲渡等されることが決まり、譲渡先の民間事業者は、現在の施設を活用し、鳥取県西部がトライアスロンの発祥の地であるという立地の特性を生かし、アスリートを主なターゲットとした宿泊型の拠点施設の運営を計画しておられます。

民間の力を生かしてできる拠点施設と連携を深めながら、海浜運動公園や海岸松林など海浜エリア一帯のさらなる活性化を図るため、官民連携で検討を進めます。



## 防災

昨年は、新型コロナウイルスの影響により、村防災訓練は中止いたしました。9月には解体中の日吉津村民俗資料館及び児童館を使用し、村消防団及び米子消防署、米子警察署、海上保安庁等と合同での救助訓練を実施するとともに、役場職員による訓練を実施し初動対応の確認等を行いました。また、日吉津村防災会議を開催し、地域防災計画をはじめとした関連計画の見直しを現在行っています。

引き続き関係機関や自治会・自主防災組織等とも連携し、本村の防災力を高めていきたいと考えています。

## 自治体デジタル・トランスフォーメーションの推進

国では、「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」が策定され、計画的にデジタル化を進めることが自治体に求められています。

本村においても、今年1月から国の法令等の定めによるもの等を除き、原則として申請書等への押印を廃止しました。引き続き自治体DX推進プロジェクトチームを中心に、行政手続のデジタル化・オンライン化について検討、準備を進めていきます。

令和4年度には、行政サービスの向上を図るため、マイナンバーカードを活用して住民票などのコンビニ交付を開始できるように、システ

## 福祉保健課・包括支援センター / 健康相談健診センター（ヴィレステひえづ）

健康診断や人間ドック、各種がん検診など村民が健康に暮らせるような機会をつくり、さらに、まちの保健室や健康ポイント手帳を活用し、健康づくりを推進しています。また、子どもから高齢者まで地域全体で支え合う福祉の村づくりを目指しています。

令和4年度は**高齢者への支援**としてスマートスピーカーによる見守り事業の実施や**補聴器購入に対する助成**などを行い、高齢者への支援を強化していきます。

（スピーカーから呼びかけ）

今日の体調はいかがですか？

（回答）

元気です



ム改修などを予定しています。

行政サービスについて、デジタル技術を活用して、村民の利便性を向上させることと併せて、誰もが取り残されないデジタル社会の実現に向け、民間企業・団体とも連携して行政手続・サービスの利用方法について相談できる環境整備を図ります。



### 政策3

## 健康で共に支え合う 活力あるむらづくり

健康で誰もが安心して暮らせる村づくり、「向こう三軒両どなり」の顔の見える関係を活かし、地域全体で支え合える村づくりを目指すとともに、農業・商業・工業・観光などの産業振興を図り、活力のある村づくりを進めます。

子育て世代包括支援センター「すまいるはぐ」などを設置し、相談窓口の一体的な取り組みを行っています。

新型コロナの影響で、対面での話し合いの機会が減少しておりますが、開催方法など工夫しながら、本村の顔の見える関係を活かした、支え愛の村づくりを進めていきます。

保健事業については、健康寿命の延伸を目的として、健康ポイント事業や健康に関する普及啓発などを引き続き実施し、住民の生活習慣改善や健康意識の向上へ繋がるよう積極的に展開していきます。

また、「まちの保健室」についても、引き続き各自治会やヴィレステひえづにおいて開催し、健康的な生活習慣が実践できる場、心やからだの気になることを気軽に相談できる場などの確保を図ります。



### 健康で支え合うむらづくり

本村では、生活困窮者、ひとり親家庭、高齢者、障がい者、子育てなど相談内容が多岐にわたり複雑化していることから、子どもからお年寄りまで様々な福祉相談に対応できるよう、福祉保健課に福祉事務所、地域包括支援センター、

### 自治会、コミュニティ活動支援

自治会、コミュニティ活動支援では、自分たちの暮らす地域で安心して暮らすことができる、活力ある地域づくりに向けた取組を行うコミュニティ活動の推進と、それに対する支援を行い、地域の将来を考えるコミュニティづくり

## 福祉事務所

低所得世帯や障がい者、母子父子家庭、児童相談など支援が必要とされる方の相談窓口を一本化し、一体的に必要な支援を行っています。

また、必要な方に必要なサービスが届くよう、地域で支え合う体制づくりを進めています。

## 複合型子育て拠点施設

8～9月頃にかけて保育所、児童館、子育て支援センター、ファミリー・サポート・センター、民俗資料館を移転し、**令和4年度秋に複合型子育て拠点施設としてオープン**する予定です。

9月にはオープニングイベントの開催を予定しています。



イメージ図

を推進しています。

新型コロナ対策を行い、工夫をしながら、それぞれの自治会やコミュニティでの活動を行っていただけるよう、国等の制度の情報提供や関係機関との情報交換等を行いながら、地域力の維持向上を図ります。

## 移住定住の促進

仕事、住まい、結婚を総合的にサポートする「移住定住総合相談窓口」を総合政策課に設置し、関連機関と連携しながらサポートを行っています。「仕事のサポート」では、県立ハローワーク、ハローワーク米子と連携して、就業を支援します。「住まいのサポート」では、購入希望の方には、村内の土地、中古住宅売買物件の情報を提供して購入を支援します。「結婚のサポート」では、鳥取県が開設した「とっとり出会いサポートセンター（えんトリー）」と連携して、1対1の出会いを支援しています。

## 農業

昨年度設置した「日吉津村農業未来会議」において、30年後の日吉津村農業の目指すべき将来像である「日吉津村農業将来ビジョン」と、その実現に向けた方策等について、各関係者で議論を重ねています。

令和4年度には、農業者の皆様の意見を元にした「農業よろず相談窓口」や「農作業お助け隊」などの新たな取組を、県の事業も活用しながら

スタートする予定です。事業の実施にあたっては、農業委員会や日吉津村地域資源保全会の皆様、国、県、担い手育成機構、JAなどの関係機関と連携し、農業者の皆様との合意形成を十分に図りながら進めます。

本村の宝である農産物や、農業者の皆様のおよみを、農業者や村民の皆様のおつながりや、助け合いの力を生かし、行政としてもこれをしっかりと支援していくことで、豊かな農地や農業を次世代につないでいきたいと考えています。



## 商工業・観光関係

商工業・観光の振興については、商工会とも連携し、小口融資や利子補給事業を継続し、中小事業所の経営安定を図るとともに、鳥取県西部9市町村と商工団体が共同で策定した「創業支援事業計画」に基づき、起業・創業など、新たなチャレンジを引き続き支援します。

また、新型コロナ後も見据え、大山山麓・日野川流域観光推進協議会など、近隣市町村とも連携しながら、広域的な観光振興やサイクルツーリズムを切り口とした地域経済の活性化を図ります。

## 建設産業課

農業では農地の保全や維持を図り、令和4年度から**がんばる地域プラン事業**として「よろず相談窓口設置事業」「村の宝づくり事業」など11の事業を開始し、5年間事業展開をします。

また、村道役場線交差点改良工事や村道宮川北線歩道設置工事などの道路や下水道の管理など生活環境のインフラ維持・整備を行います。さらに、商工会と連携し小規模事業者などの支援を行い、令和4年度も商品券の発行など地域経済の活性化に努めます。



▲村道宮川北線

## 地方創生総合戦略

本村の地方創生の推進については、第2期日吉津村地方創生総合戦略を令和3年2月に策定し、2060年に本村の人口3,600人を維持するため、「住んでみたい、住み続けたいむらづくり」など4つの基本目標を掲げ取り組んでいます。

令和4年3月1日現在の人口は3,593人と、昨年の3,563人に比べ30人の増となっています。

引き続き、移住定住施策や村内外に本村の魅力を知ってもらえる仕掛けづくりを官民連携で取り組み進めます。



## 行財政改革

これまで、行財政改革大綱及び行財政改革プランに基づき財政運営の健全化を目指し、各種使用料、補助金等の見直し、事務事業の効率化など様々な行財政改革の取組を行ってきました。

令和3年度は、「さらなる村民サービス向上をめざして、未来に繋ぐ行財政基盤の確立」を改革のテーマとした第4次行財政改革プランの「実施計画」に基づき、効果的な組織体制や、

ICTなどの技術活用による事務の効率化などの検討、取組を行いました。令和4年度は前年度の取組を検証しながら、課題を整理しつつ、進捗状況や社会経済環境の変化を踏まえ、実施項目の追加や取組の変更などの改善策を検討します。また、必要に応じて、計画へ反映させることで、改革の着実な推進を図ります。

## おわりに

新型コロナ感染拡大防止、社会経済対策、円滑なワクチン接種など、村民の皆様、関係者の皆様のご理解、ご協力をいただきながら、しっかりと対策を進めてまいります。

そして、自治基本条例に定められた、「住民主権」、「人権の尊重」、「情報の共有」、「参画と協働」の基本原則を、しっかりと基礎に据えながら、村民の皆様と一緒に、「みんなで創る元気な村 住み続けたい日吉津村」づくりを進めていく所存ですので、引き続き、格別のご理解とご協力を賜りますようお願いし、施政方針といたします。



## 教育委員会事務局 / コミュニティセンター・日吉津村図書館 (ヴィレステひえづ)

学校施設の整備・維持や小学校全学年30人以下学級、個に応じた学習支援員・ICTサポーター等の単独配置、沖縄民泊学習等特色ある取り組みにより、子どもたちの豊かで確かな学びを支援して、学力の定着を図り子ども達の能力が十分に発揮できるようにします。

さらに、人権・同和教育や生涯学習、村民総スポーツの推進、出前図書館を含めた図書館の充実等により、あらゆる世代のニーズに対応した学びの場を提供することで、村民の充実した生活を創造し、笑顔あふれる村づくりを進めます。

